

令和元年度宮崎県病院薬剤師会中小病院および療養病床委員会研修会

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

宮崎県病院薬剤師会中小病院および療養病床委員会では、「疑問点を相談できる機会が少なく」と困っている会員の皆様のご意見を受け、学術委員会と合同で下記の研修会を開催する事と致しました。

くまもと温石病院薬局長 森直樹先生をお招きし、「繋がる」をテーマにこれからの中小病院薬剤師の可能性について特別講演を賜ります。

多くの先生方のご出席を頂きますよう、どうぞよろしくお願い致します。 謹白

記

日時 令和2年2月9日（日曜日） 13：00～ （受付開始 12：30）

場所 JA・AZM ホール AZM 別館 302 研修室

12：30～ 受付

13：00～ 開会

13：05～14：35 特別講演 座長 延岡市医師会病院 薬局長 佐藤 智加子先生

『後期高齢者医療の中で薬剤師や多職種と「繋がる」を考える』

くまもと温石病院 薬局長 森 直樹先生

14：35～14：45 休憩

14：45～16：20 意見交換

テーマⅠ 病院内での「繋がる」を考える

中小の病院では、ともすれば調剤業務等で一日中薬局の中で過ごしてしまう事も多いと思います。しかしチーム医療では構成に薬剤師が必須になり、病棟薬剤業務実施工算では算定対象の拡大に向けての動きも出ています。薬剤師が院内のあらゆる所で活躍の場を広げていく事が今以上に求められます。そうは言うものの「何をどうしたら良いかわからない」「どんな知識が必要か不安」といった悩みは尽きないと思います。一緒に考えませんか。

テーマⅡ 病院外での「繋がる」を考える

例えば、持参薬鑑別してどうしても不明な点が出てきた時など、どこの誰に問い合わせたら良いのだろうと困った事は有りませんか？例えば、転院される患者様について情報を伝えたいと思っても、どうしようと困った事は有りませんか？例えば、患者様の外来受診が不定期になり、その原因がわからず困った事は有りませんか？院内だけでは解決できない事が起こった時、誰にどのように相談したら良いのでしょうか。一緒に考えませんか。

※日病薬病院薬学認定研修単位および日本薬剤師研修センター単位を申請中です。

※参加費として 500 円を徴収させていただきます。（会員外の方は 1500 円を申し受けます）

主催：宮崎県病院薬剤師会